10 期末試験

期末試験は、筆記・口述・レポートや作品の提出、実験や実技等で行われます。詳細はシラバスに記載されている評価方法を確認し、科目担当者からの指示を受けてください。なお、以下に該当する学生は受験資格が認められないので注意してください。

①履修登録をしなかった者
②正当な理由なく授業料を滞納している者
③出席状況が常でない者

●筆記試験の注意事項

①筆記試験の詳細（試験時間、持ち込み、遅刻等）については、科目担当者の指示に従ってください。
②試験時間の５分前には入室し、監督者の指示に従い、着席してください。
③机の上には許可されたもの以外は一切置かないでください。
④受験の際は学生証を机上に提示してください。

[学生証を忘れた場合]

試験時間前までに証明書自動発行機で（学内試験用）仮学生証（発行手数料 200 円）を購入の上、教務課窓口で手続きを行うこと。仮学生証は教務課の承認印が押印されているもので、発行した当日のみ使用可能。試験終了後は速やかに教務課へ返却してください。

※紛失した場合は速やかに学生生活課で再発行手続きをとってください。

▶証明書自動発行機
本館２階事務室出入口前

●レポート試験の注意事項

①レポートの作成・提出については、すべて科目担当者の指示に従ってください。
※他の著作物を引用する場合には、引用された著作物や著作者名の表示が著作権法で定められているため、注意してください。
チャット GPT や生成 AI を不正に使用し、レポートを作成した場合は、不正行為とみなされ懲戒の対象となります。
②用紙は、レポート用紙か科目担当者が指定する用紙を使用してください。
③科目名・テーマ・科目担当者名・学類・学年・クラス・学籍番号・氏名等を明記してください。
④用紙がバラバラにならないようにホチキスまたはクリップで留めてください。
⑤教務課レポート BOX に提出する際は、原則 15：00 締切となります。

▶レポート提出
科目担当者に提出したレポートは返還されない場合もあるため、必要な場合はあらかじめコピーをとるなど保存をすること。

▶ホチキス・クリップ
大学事務室では、ホチキスやクリップの貸し出しは行っておりません。各自で必ず準備すること。

●教務課レポート BOX の注意事項

①土日・祝日など事務取扱いをしない日や郵送での提出は認めません。
②提出期日・時間を過ぎたものは、理由を問わず受理しません。その場合には、各自で科目担当者へ直接問い合わせてください。

●レポート評価コモンルーブリック

○コモンルーブリックの趣旨

「ルーブリック」とは、学習の達成度を判断する基準を示します。本学の教学推進専門委員会では、教員が適切なレポート評価を行うための参考として、レポートの評価の基準を明示した「レポート評価コモンルーブリック」を作成し、各教員に配布しています。このルーブリックには、大学生が書くレポートに求められる重要なポイントが書かれており、学生がルーブリックを理解することは、レポート作成のプロセスや論述の基本的要件を学ぶことにつながります。レポートの到達目標、評価の観点・基準を意識しながらレポート作成に取り組み、完成度の高いレポートが作成できるよ

う、活用してください。なお、シラバスの成績評価方法・評価基準には、ルーブリックの使用の有無、概要について記載されておりますので、参考にしてください。また、科目担当者により独自の評価基準（例えば特定の授業科目用レポートルーブリック）を作成する場合もあるため、どのような評価基準を用いるかは確認してください。

▶レポート評価コモンルーブリック
Campusmate-J にログインし、タブ【キャビネット】－［キャビネット一覧］－［学生共通キャビネット］－［1. 教務関連資料・各種申請書等］－［3. 履修・成績］－［2. 成績］よりダウンロード

○評価の観点

レポートが成立するための条件は「論述されていること」です。ルーブリックでは、「論述」について評価するための標準的な観点として、以下の３点を設定しています。

・評価の観点①　自分の考えや主張（論点）が明確で、論理的な説明ができている
・評価の観点②　自分の考えや主張（論点）の根拠となるデータや参考文献を適切に用いている
・評価の観点③　文章の体裁・表現の推敲が行われている

与えられた課題・テーマについて、自分の考えや主張が、文献・調査・実験などを通して得られた根拠に基づき、論理的に述べられていることが「論述」の条件です。また、大学で求められる学術的な文章を書くことは、アカデミック・ライティングと言い、一定の規範に従って書く必要があります。

なお、ルーブリックでは、評価の配点については明記しておらず、あくまでも評価の基準を示すものであり、実際の配点はレポートごとに各教員の判断で設定されます。

○評価のレベル

コモンルーブリックの観点①②については０～４の５段階のレベルに相当する内容を記述しています。③「推敲」については、誤字・脱字の量や文章の完成度に応じ、柔軟に設定できるように、３段階のレベルに設定しています。

［レベルの意味］
４：期待以上の完成度
３：十分に満足できる
２：やや努力を要する
１：かなりの努力を要する
０：不可

○観点ごとの評価のポイント

・評価の観点①　論述・考察
「自分の考えや主張（論点）が明確で、論理的な説明ができている」

「自分の考え」とは、「テーマについて、文献や資料を調べた上で引き出された考え」であり、「問題となる事柄や他者の主張に対しての賛否」なども含まれます。“自分の考え”が論理的に説明できているかが評価のポイントとなります。

・評価の観点②　考察の根拠
「自分の考えや主張（論点）の根拠となるデータや参考文献を適切に用いている」

「“自分の考え”の根拠がどのように提示されているか」「信頼度の高いデータや参考文献を十分に調べ、それらを“自分の考え”の根拠として用いているか」が評価のポイントとなります。

・評価の観点③　文章体裁・推敲
「文章の体裁・表現の推敲が行われている」

「文章の体裁・表現」は、適切な段落構成、文体の統一、主述の対応などを指し、「推敲（すいこう）」は、自分の書いた文章を何度も読み返し、修正を重ね、より良い文章に整えていくことを指します。したがって、十分に推敲した上で、体裁を整え、文章表現上の間違いのない正確な論述かが評価のポイントとなります。

▶レポート評価コモンルーブリック
Campusmate-J にログインし、タブ【キャビネット】－［キャビネット一覧］－［学生共通キャビネット］－［1. 教務関連資料・各種申請書等］－［3. 履修・成績］－［2. 成績］よりダウンロード

○レポート提出用チェックリスト

ルーブリックとは別に、レポート提出にあたり確認しておくべき項目のチェックリストを作成しました。特に指示がない場合でも、自分の書いたレポートを読み手の目線から振り返ることは、常に心がけるべきことであるため、レポートの自己診断用のツールとして活用してください。

レポート評価コモンルーブリック

評価の観点	レベル				
	4	3	2	1	0
自分の考えや主張（論点）が明確で、論理的な説明ができている。	レポートの課題に関して、自分の考えや主張（論点）が明確で、論理的な説明ができており、説得力のある結論を導いている。	レポートの課題に関して、自分の考えや主張（論点）を示しているが、論理的な説明に改善の余地がある。	レポートの課題に関して、ある程度自分の考えや意見を示しているが、論理的な説明が不十分である。	レポートの課題に関して、他人の考えや意見の記述に留まっている。論理的な説明ができてない。	レポートの課題に答えるような自分の考えや主張（論点）が全く示されておらず、論理的な説明もできてない。
自分の考えや主張（論点）の根拠となるデータや参考文献を適切に用いている。	質が高く信頼性の高いデータや参考文献などを的確に用い、自分の考え（論点）の根拠として十分に活かしている。	自分の考えや主張（論点）の根拠となるデータや参考文献を概ね適切に用いている。	自分の考え（論点）の根拠となるデータや参考文献を用いているが、質・量ともにやや不十分である。	データや参考文献を用いているが、信憑性に欠けるなど、根拠として不適切である。	自分の考えや主張（論点）の根拠を示していない。
文章の体裁・表現の推敲が行われている。	体裁が整えられ、間違いがなく慎重かつ丁寧に推敲された文章となっている。	文章の体裁、書式に配慮し、推敲された文章となっているが、改善すべき点がある。			文章の体裁が整っておらず、表現上の間違いが非常に多く、推敲の跡が見られない。

レポート提出用チェックリスト

1. 全体
   - □ 課題（テーマ）に応じた内容となっているか？
   - □ 指定された執筆形式（書式、分量、用紙など）を守っているか？
2. 文章の体裁・表現
   - □ 誤字、脱字、変換ミスはないか？
   - □ 文体は「である」調で統一されているか？
   - □ 文章は適切な段落に区切られているか？
   - □ 不適切な文章はないか？（主語・述語のミスマッチ、□語表現、体言止め）
3. 引用・参考資料
   - □ 引用の書き方は守られているか？
   - □ 参照・引用したすべての参考文献・資料について出典を明記してあるか？
   - □ 他人の文章、画像、データなどの剽窃・盗用は行なっていないか？

●不正行為

○筆記試験における不正行為

①監督者の指示や注意に従わない行為
②他人に試験を代行させたり、他人の試験を代行したりする行為
③他人の学生証で受験する行為
④他人の答案を見たり、他人に見せたりする行為
⑤答案用紙等の交換や貸借する行為
⑥言語・動作・電子機器等で連絡する行為
⑦持ち込みを許可された物以外の物を使用する行為
⑧持ち込みを許可されている物を貸借する行為
⑨答案作成に利用する目的で、学内の施設・設備・受験者の身体、衣服、筆記用具等に書込む行為

○レポートや製作物における不正行為

①他人に代行させたり、代行したりする行為
②他人のレポートや制作物を盗む行為
③他人のレポートや制作物を転写・複製する行為
④チャットGPTや生成AIで作成する行為
⑤その他、上記に準ずる行為

○不正行為に対する対応

・期末試験における不正行為の場合

対象学生に対する措置は、「学生懲戒規程」に基づくものとしています。また、不正行為の事実が確認された場合は、「当該学期」に履修している他の全ての授業科目の成績も無効となります。

※「通年科目」は成績無効の対象外とします。
※「当該学期」とは前期（クォーター及び集中講義含む）、後期（クォーター及び集中講義含む）のいずれかを指します。

・期末試験以外の試験における不正行為の場合

授業内試験における不正行為は、科目担当者の判断により、当該科目のみを対象とした処分を講じます。

11 成績評価

▶シラバス
参照 p.20

履修登録をしている科目は、シラバスに明記されている成績基準や割合によって評価されます。

判　定	評価	素　点	GP	意　味
合　格（単位認定）	S	100～90点	4.0	特に優秀な成績
	A	89～80点	3.0	優秀な成績
	B	79～70点	2.0	普通の成績
	C	69～60点	1.0	合格と認められる最低の成績
	N	認　定	−	本学以外で修得した科目及び実験・実習等の科目で素点では評価しにくい科目等の認定
不合格	F	59点以下	0	不合格

▶認定科目
尚絅学、情報リテラシー、基盤演習（ライティングを含む）、キャリアデザインⅡ、キャリアアップセミナー、その他学類で定めた科目

▶成績照会
Campusmate-J にログインし、タブ［履修・成績］－［成績照会］

▶単位認定時期
参照 p.16

●成績照会

成績は Campusmate-J より確認できます。成績開示日については学事暦をご確認ください。